

スケジュール（経産婦）

① 妊婦健診にて、1週間以内に生まれそうであれば入院日が決まります。

（まだであれば、再度翌週に健診にきていただきます。）

② 前日のお昼または当日の朝に入院となります。

＜前日入院の場合＞

点滴確保→硬膜外カテーテル挿入→テストの薬剤注入後しばらく観察→病室へ
→翌朝より促進剤内服→医師の診察→促進剤点滴・バルーン挿入など

＜当日入院の場合＞

医師の診察→点滴確保→促進剤点滴・バルーン挿入など→硬膜外カテーテル挿入

③痛みがでてきたら、カテーテルより麻酔薬を投与して痛みを調節していきます。

④夕方までに分娩に至らなければ、促進剤中止し、翌朝より促進再開します。

（進行あれば夜間までそのまま続行することもあります。）

予定外の場合（経産婦）

- 入院予定日より早く入院・出産となる場合
 - 平日の日中で条件が揃えば無痛分娩をさせていただきます。
日祝日・夜間は自然分娩となります。
- カテーテル挿入済みで、日祝日・夜間に分娩進行した場合
 - 挿入済みのカテーテルから薬剤を入れて無痛分娩可能です。
ただし、カテーテルの入れかえはできません。



スケジュール（初産婦）

❖ 陣痛や出血などで入院後

①平日の8時30分から17時

②分娩進行が認められる

③安全に無痛分娩が施行できる状況

（スタッフと分娩室に余裕があり、無痛分娩の人数制限を超えていない）

上記条件が揃えば、硬膜外カテーテルを挿入し、無痛分娩を施行します。



費用

+8万円（経産婦）
+10万円（初産婦）

- ❖ 促進剤・部屋代・食事代などが含まれます。
- ❖ 吸引・鉗子分娩・産後の処置（出血など）は保険請求となります。
- ❖ 無痛分娩途中で帝王切開に移行した場合は経産・初産とも4万円となります。

